

授業科目名	【G】	商法(手形法・小切手法)Ⅱ	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【EF】	手形・小切手法Ⅱ	その他参照		【EF】3		【EF】2
科目区分	専門科目						
授業形態	対面授業						
担当形態	単 独	【G】 【EF】					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブタイトル	“ 手形・小切手法を学べば法律全般が理解できる ”				担当者	織田 恭一	
授業概要	【概要】	<p>【(銀行実務)経験を生かした授業】 手形・小切手法は、元来、商人間の実務の要請から誕生した法律であり、学問です。特に現代の手形・小切手法は、手形・小切手交換制度、手形紛失・手形トラブル等の銀行実務と深く関わっており、銀行実務を離れて手形・小切手法を理解することは不可能です。そこで、全授業時間を通して、担当教員(織田)の銀行実務経験(1970-2001)を踏まえ、手形・小切手法の内容を深く学びます。</p> <p>【概要】 手形・小切手法は、企業社会に就職しようとする学生や、各種国家試験に挑戦しようとする学生、既に企業社会で活躍されている一般社員から取締役に至るまで、ぜひとも学んでおかなければならない重要な法律です。そこで本授業では、履修者が手形・小切手法の基礎的知識と理論を習得することを目指し、それが実際の企業社会にどのように活かされているか等についても分かりやすく講義します。</p>					
	【到達目標】	履修者が、手形法の基礎知識及び法理論の習得により企業社会での活躍及び各種国家試験等に対応できるようになることを目指します。					
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・特に企業への就職を考えている者又は各種国家試験に挑戦意欲のある者 ・「手形小切手法Ⅰ」の履修を済んだ者 						
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	— (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	— (当てはまらない)					
他科目との関連性	<ul style="list-style-type: none"> ・「商法概論」及び「民法概論」の内容を理解しておいてください。(手形小切手法は、民法及び商法の理解を更に深めるのに適した科目です) 						
教科書	織田恭一 著「手形法・小切手法」(ビジネス教育出版社)						
参考書	特に指定しません。						
評価方法	学習到達度確認テスト(2回)で評価します。						
フィードバック方法	「学習到達度確認テスト」の答案提出後に、模範解答を作成して履修者へのフィードバックを行い、本授業の内容の理解に役立てます。						
評価基準	授業全般の内容について、よく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」を与えます。内容の一部について理解や表現が不十分である者はその程度に応じて「B」または「C」とし、内容全般についての理解自体が不十分な者についてはその程度に応じて「D」または「E」とします。なお、「学習到達度確認テスト」の欠席など、評価不能の場合には「F」とします。						
その他	<p>真に実力をつけたい学生は、極力、出席してください。</p> <p>※Gカリ:選択 / EFカリ:法【選択】スポ【選択】経【選択必修(β)】</p>						

授業科目名	【G】	商法（手形法・小切手法）Ⅱ	区分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【EF】	手形・小切手法Ⅱ	その他参照		【EF】3		【EF】2
授業回数	授業内容						
1	手形・小切手法学習のガイダンス、満期前における支払						
	予習： 満期前における支払（167頁から173頁）（計90分程度）			復習： 満期前における支払の危険性について徹底理解（計90分程度）			
2	満期後における支払						
	予習： 満期後における支払（173頁から180頁）（計90分程度）			復習： 満期後における支払の効力について徹底理解（計90分程度）			
3	遡求						
	予習： 遡求の内容について（181頁から186頁）（計90分程度）			復習： 遡求の要件について徹底理解（計90分程度）			
4	再遡求						
	予習： 再遡求の内容（188頁から190頁）（計90分程度）			復習： 遡求の方法と権利関係について徹底理解（計90分程度）			
5	手形債権の消滅時効						
	予習： 消滅時効の内容（191頁から198頁）（計90分程度）			復習： 時効を巡る判例について徹底理解（計90分程度）			
6	利得償還請求権						
	予習： 利得償還請求の内容①（199頁から212頁）（計90分程度）			復習： 利得償還請求を巡る判例について徹底理解（計90分程度）			
7	公示催告と除権決定						
	予習： 公示催告と除権決定の内容（213頁から222頁）（計90分程度）			復習： 除権決定に関する学説・判例について徹底理解（計90分程度）			
8	第1回学習到達度確認テスト及びその解説						
	予習： 第1回～第7回（167頁から222頁）（計90分程度）			復習： 第1回学習到達度確認テスト及びその解説について徹底理解（計90分程度）			
9	小切手①小切手の特性と支払呈示について						
	予習： 特性と支払呈示（223頁から226頁）（計90分程度）			復習： 小切手の特性、支払呈示について徹底理解（計90分程度）			
10	小切手②小切手の遡求及び線引について						
	予習： 小切手の遡求、線引（237頁から243頁）（計90分程度）			復習： 小切手の遡求、線引小切手について徹底理解（計90分程度）			
11	手形・小切手の決済制度について						
	予習： 手形・小切手の決済制度（252頁から260頁）（計90分程度）			復習： 手形・小切手の決済制度徹底理解（計90分程度）。			
12	手形交換制度と法と関係について						
	予習： 異議申立制度について（260頁から269頁）（計90分程度）			復習： 異議申立金と預託金について徹底理解（計90分程度）			
13	電子記録債権法について						
	予習： 電子記録債権の要件について（計90分程度）			復習： 電子記録債権の要件について徹底理解（計90分程度）			
14	電子記録債権法と手形法との比較について						
	予習： 電子記録債権法と手形法との比較について（計90分程度）			復習： 電子記録債権法と手形法との比較について徹底理解（計90分程度）			
15	第2回学習到達度確認テスト及びその解説						
	予習： 第9回～第14回（223頁から269頁）（計90分程度）			復習： 第2回学習到達度確認テスト及びその解説について徹底理解（計90分程度）			

科目コード B463-3-X